

オプアウト文書【2022年4月版】

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20220017
研究課題名	人工膝関節置換術患者の手術前後の骨密度変化について
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 整形外科 / 武田 勇樹
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2022年8月4日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	人工膝関節置換術は長期成績の安定した有用な手術です。しかし、手術時の骨折や長期的な金属のゆるみ、疼痛の残存に、骨粗鬆症が関連している可能性があります。手術前後の骨密度変化と疼痛、活動性など症状の関連性を明らかにし、今後の治療成績向上へつなげることが目的となります。
研究の方法	当院でTKAを行なった患者さんの、手術前、手術後1年の骨密度変化、記述式アンケートの結果について調査を行います。
対象者	当院にて2020年1月から2020年12月の間に当院で人工膝関節置換術を行った患者さん
利用する試料/情報	年齢、性別、BMI、骨密度（手術前、手術後1年）、術後1年（腰椎、大腿）記述式アンケート new Knee Society Score（手術前、手術後1年）、術前満足度、1年満足度、術前期待値、1年期待値、術前活動性、1年活動性
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
研究資金源	この研究は研究者の私費にて実施されます。
結果公表	骨粗鬆症学会で発表します。
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 整形外科 / 武田 勇樹